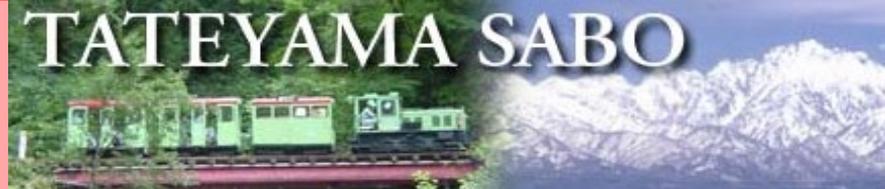


「富山市立新庄北小学校」で出前講座！



暴れ川として有名な常願寺川の特徴や土砂災害の種類、砂防堰堤の役割等々、立山砂防の事業に興味を持ってもらうことを目的として、富山市立新庄北小学校にて出前講座を実施しました。砂防や立山カルデラについて、興味を持ってもらうことを目的にした授業の内容は、急流河川であるといった常願寺川の特徴、土砂災害のメカニズム、砂防堰堤の役割などなど、土砂災害の恐ろしさや身近な立山で行われている砂防事業についてでしたが、興味津々といった表情で学ぶ児童達の姿がありました。

出前講座の様子

開催日：令和3年6月23日(水)

時間帯：10:45～11:30

場所：富山市立新庄北小学校

参加者：5年生(84名)・教員(3名)

◆講座内容◆

1. 土砂災害とは
2. 砂防とは
3. 砂防堰堤の働き
4. 立山カルデラ
5. 常願寺川の特徴
6. 立山の砂防事業

実際に、土石流、地すべり、崖崩れの画像を児童がわかりやすいように動画で見させていただきました。



講座の内容(一部抜粋)

砂防(Sabo)とは

山地を荒れないようにし、また荒れた山地を平らにして、**下流の町や田畑を土砂防**と言います。

土砂災害とは

山やがけが崩れてたくさんの土や石などが建物を押しつぶしたり、水と混ざった土砂が建物を押し流したりする災害のこと。大雨、地震、火山の噴火などがきっかけで起こります。わたしたちの命や財産を奪ってしまう、とても怖い自然災害です。

情報発信により
舌を守ります。



今回の出前講座は、令和元年度に引き続き「斜面防災対策技術協会富山支部」が主催となり、当事務所が支援しました。